

研究実施のお知らせ

研究課題名：慢性腎臓病患者に対する多職種診療支援の実態と予後に関する調査研究

研究期間：倫理審査終了後 から 2031 年 12 月

仙台市立病院では、倫理審査委員会の承認及び院長の許可の基、上記課題名の研究を行います。「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」（令和3年6月30日施行）に基づき、匿名化された既存情報（診療録等）の研究利用について、以下に公開いたします。

【研究の対象となる方】

2019年1月から2030年12月に、当院内科・腎臓内科を受診または血液浄化療法室を利用した慢性腎臓病患者

【研究の目的と意義】

慢性腎臓病（CKD）の診療では、治療方針や腎代替療法の選択の多様化により多職種介入や共同意思決定（SDM）が求められています。高齢化等に伴い社会支援を要する人が増え、望む医療やケアの話し合い（ACP）や保存的腎臓療法（CKM）が知られますが、定まった見解はありません。そこでCKD診療の実態や予後調査を通して、当院で提供される医療の質の向上を目指すことを本研究の目的とします。

【研究の方法】

電子カルテ等に保存された臨床情報を年次毎に収集して調査し、統計学的な解析を行います。後向き調査と、転帰は前向きに調査し観察研究を行います。今後発生する対象者も調査対象です。

【研究に用いる試料・情報の種類】

情報：電子カルテに記載された診療内容、病歴、診断、カルテ番号、患者背景、検査結果、栄養指導、看護指導の記録、ACP 価値観シート内容、転院先、転院後の診療情報提供書や報告等から把握される転帰、実施された腎代替療法等。使用に際しては、倫理指針等により個人情報を厳重に保護し、研究結果の発表に際しても、個人が特定されない形でいきます。

試料：なし。

【研究の実施体制】

研究代表者： 仙台市立病院 腎臓内科部長 山本多恵

共同研究者： 仙台市立病院 （腎臓内科）古田恭平 千葉祐貴 山陰浩 佐藤元信、
（看護師）小西綾乃 坂本智子 本堂邦晴 佐藤あけみ 荒川和江、（腎臓病療養指導士・看護師）澤田佳苗 畑中ゆかり、（管理栄養士）岸本由加里、（ソーシャルワーカー）澤井彰 千坂尚文

【お問い合わせ先】

この研究への情報提供を希望されないことをお申し出いただいた場合、その患者さんの情報は利用しないようにいたします。ただし、お申し出いただいた時にすでに研究結果が学会や論文などで公表されていた場合は、完全に廃棄できないことがあります。情報の利用を希望されない場合、あるいは不明な点やご心配な点がございましたら、ご遠慮なく下記連絡先までお問い合わせください。この研究への情報提供を希望されない場合でも、診療上何ら支障はなく、不利益を被ることは一切ありません。

仙台市立病院 腎臓内科 科部長 山本 多恵 （研究責任者）

仙台市太白区あすと長町一丁目 1 番 1 号

電話：022-308-7111（代表）